



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 イーソル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4420 URL <https://www.esol.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 勝敏  
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 落合 藤夫 TEL 03-5365-1560  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 2023年9月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	4,667	13.6	△24	—	104	—	72	—
2022年12月期第2四半期	4,110	△9.6	△470	—	△397	—	△423	—

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 135百万円 (—%) 2022年12月期第2四半期 △409百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	3.56	—
2022年12月期第2四半期	△20.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	7,209	5,474	75.9
2022年12月期	7,213	5,409	75.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 5,474百万円 2022年12月期 5,409百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	1.50	—	4.00	5.50
2023年12月期	—	1.50			
2023年12月期（予想）			—	4.00	5.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,692	9.2	△94	—	23	—	△0	—	△0.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	21,460,800株	2022年12月期	21,460,800株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	1,063,577株	2022年12月期	1,076,030株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	20,389,171株	2022年12月期2Q	20,371,045株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの影響は収束しつつあり、経済活動は正常化に向け動き出し、景気は緩やかに持ち直しているものの、ウクライナ情勢や急激な為替の変動、原材料等の価格の上昇等により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの組込みソフトウェア事業の主要取引市場である自動車業界では、CASE (Connected つながる車、Autonomous 自動運転、Shared & Service シェアリングサービス、Electric 電動化) と呼ばれる領域が進展しており、同市場は大きな変革期にあります。また、自動車や医療分野を中心に、安全技術への需要が高まっており、機能安全規格の認証取得が求められる傾向にあります。

このような環境の中、当社グループは自動車関連業界をメインターゲットと位置づけ、開発した製品を顧客の要望に応じたエンジニアリングサービスとともに提供するという、ワンストップソリューションの提供に注力するとともに、当社製品に対する研究開発への投資を引き続き行ってまいりました。また、センシングソリューション事業がメインターゲットの1つとしている食肉市場並びに倉庫・物流業界に対し、指定伝票発行用車載プリンタ (以下「車載プリンタ」という。) 並びにハンディターミナルの拡販を進めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,667百万円 (前年同期比13.6%増)、研究開発への投資により、営業損失24百万円 (前年同期は営業損失470百万円)、NEDO (国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構) 等からの助成金収入103百万円を計上したことにより、経常利益104百万円 (前年同期は経常損失397百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益72百万円 (前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失423百万円) となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### (組込みソフトウェア事業)

当事業は、幅広い分野における電子機器向けの自社製ソフトウェア製品RTOS (リアルタイム・オペレーティング・システム) の開発・販売、受託開発を主に行っております。その結果、売上高4,383百万円 (前年同期比11.8%増) 及び研究開発への投資により、セグメント損失66百万円 (前年同期はセグメント損失407百万円) となりました。

また、当セグメントの売上高の内訳としては、ソフトウェア製商品は782百万円 (前年同期比6.1%減)、エンジニアリングサービス等は3,601百万円 (同16.7%増) となりました。

#### (センシングソリューション事業)

当事業は、冷蔵・冷凍食品市場、食肉市場及び物流市場において、車載プリンタやハンディターミナルの販売、新たなセンサネットワーク関連ビジネスを推進いたしました。その結果、売上高233百万円 (前年同期比2.3%増)、セグメント損失15百万円 (前年同期はセグメント損失33百万円) となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は5,854百万円となり、前連結会計年度末に比べて47百万円減少いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が116百万円、その他の流動資産が105百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が431百万円減少したことによるものであります。固定資産は1,355百万円となり、前連結会計年度末に比べて43百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が82百万円増加した一方、有形固定資産が14百万円、無形固定資産が18百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、7,209百万円となり、前連結会計年度末に比べて3百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,264百万円となり、前連結会計年度末に比べて48百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が60百万円増加した一方、その他の流動負債が111百万円減少したことによるものであります。固定負債は471百万円となり、前連結会計年度末に比べて20百万円減少いたしました。これは主に繰延税金負債が36百万円増加した一方、持分法適用に伴う負債が57百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,735百万円となり、前連結会計年度末に比べて68百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は5,474百万円となり、前連結会計年度末に比べて64百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が57百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ431百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には3,436百万円になりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は354百万円(前年同期に使用した資金は75百万円)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益104百万円等の資金増加要因、棚卸資産の増加額161百万円、売上債権の増加額116百万円、その他の負債の減少額182百万円等の資金減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は3百万円(前年同期に使用した資金は64百万円)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出9百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は81百万円(前年同期に使用した資金は81百万円)となりました。これは配当金の支払額81百万円等によるものであります。

(4) 業績予測などの将来予測情報に関する説明

2023年2月14日の「2022年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。今後、状況の進展や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,979,994	3,548,994
受取手形、売掛金及び契約資産	1,482,293	1,598,670
商品及び製品	139,886	227,167
仕掛品	83,060	157,361
その他	216,172	321,927
流動資産合計	5,901,407	5,854,120
固定資産		
有形固定資産	277,978	263,614
無形固定資産	157,420	139,040
投資その他の資産		
投資有価証券	640,833	723,717
その他	236,095	229,411
投資その他の資産合計	876,928	953,128
固定資産合計	1,312,327	1,355,783
資産合計	7,213,735	7,209,903
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	465,465	526,047
未払法人税等	33,928	35,901
賞与引当金	58,628	62,767
受注損失引当金	3,870	—
その他	750,979	639,751
流動負債合計	1,312,872	1,264,467
固定負債		
繰延税金負債	93,849	130,589
資産除去債務	123,081	123,996
持分法適用に伴う負債	176,239	118,680
その他	98,393	98,129
固定負債合計	491,563	471,395
負債合計	1,804,435	1,735,862
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,041,818	1,041,818
資本剰余金	976,768	986,311
利益剰余金	3,230,569	3,221,557
自己株式	△82,027	△81,113
株主資本合計	5,167,128	5,168,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	238,925	296,554
為替換算調整勘定	3,245	8,912
その他の包括利益累計額合計	242,171	305,467
純資産合計	5,409,299	5,474,041
負債純資産合計	7,213,735	7,209,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,110,686	4,667,906
売上原価	2,792,087	2,989,782
売上総利益	1,318,598	1,678,123
販売費及び一般管理費	1,789,290	1,702,842
営業損失(△)	△470,691	△24,719
営業外収益		
受取利息	17	17
受取配当金	5,009	21,387
助成金収入	91,661	103,009
その他	4,424	10,201
営業外収益合計	101,111	134,615
営業外費用		
為替差損	3,850	4,937
有価証券運用損	23,691	—
その他	1	—
営業外費用合計	27,543	4,937
経常利益又は経常損失(△)	△397,123	104,958
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△397,123	104,958
法人税、住民税及び事業税	16,805	21,589
法人税等調整額	9,535	10,841
法人税等合計	26,340	32,431
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△423,463	72,527
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△423,463	72,527

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△423,463	72,527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,072	57,628
為替換算調整勘定	3,669	5,666
その他の包括利益合計	13,741	63,295
四半期包括利益	△409,722	135,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△409,722	135,823



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△397,123	104,958
減価償却費	35,413	44,453
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,548	4,139
受注損失引当金の増減額(△は減少)	560	△3,870
受取利息及び受取配当金	△5,026	△21,405
為替差損益(△は益)	△815	△1,242
有価証券評価損益(△は益)	23,691	—
助成金収入	△91,661	△103,009
売上債権の増減額(△は増加)	447,660	△116,377
棚卸資産の増減額(△は増加)	△89,761	△161,581
仕入債務の増減額(△は減少)	△67,484	60,581
その他の資産の増減額(△は増加)	△15,912	4,308
その他の負債の増減額(△は減少)	△51,295	△182,039
その他	764	1,326
小計	△206,442	△369,757
利息及び配当金の受取額	5,026	21,362
助成金の受取額	91,661	4,534
法人税等の支払額	△11,289	△10,538
法人税等の還付額	45,606	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△75,438	△354,398
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△46,534	△9,418
無形固定資産の取得による支出	△15,333	△938
敷金及び保証金の差入による支出	△563	—
その他	△1,858	6,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,290	△3,990
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△39
配当金の支払額	△81,109	△81,565
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81,109	△81,605
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,968	8,993
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△214,870	△431,000
現金及び現金同等物の期首残高	3,902,527	3,867,071
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,687,657	3,436,070

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I. 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	組込み ソフトウェア事業	センシング ソリューション事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	3,912,248	228,540	4,140,789
ソフトウェア製商品	832,888	—	832,888
ハードウェア製商品	—	228,540	228,540
エンジニアリングサービス	3,079,360	—	3,079,360
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,912,248	228,540	4,140,789
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,825	—	7,825
計	3,920,074	228,540	4,148,614
セグメント損失(△)	△407,278	△33,309	△440,588

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	金額
報告セグメント計	4,148,614
セグメント間取引消去	△7,825
未実現利益の調整額	△30,103
四半期連結損益計算書の売上高	4,110,686

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△440,588
未実現利益の調整額	△30,103
四半期連結損益計算書の営業損失	△470,691

Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	組込み ソフトウェア事業	センシング ソリューション事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	4,376,549	233,797	4,610,347
ソフトウェア製商品	782,001	—	782,001
ハードウェア製商品	—	233,797	233,797
エンジニアリングサービス	3,594,547	—	3,594,547
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	4,376,549	233,797	4,610,347
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,653	—	6,653
計	4,383,203	233,797	4,617,000
セグメント損失(△)	△66,382	△15,895	△82,278

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	金額
報告セグメント計	4,617,000
セグメント間取引消去	△6,653
未実現利益の調整額	57,559
四半期連結損益計算書の売上高	4,667,906

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△82,278
未実現利益の調整額	57,559
四半期連結損益計算書の営業損失	△24,719